

令和4年度 第1回 酒田市地域公共交通会議

日時 令和4年8月22日（月）13：30

場所 酒田市役所3階 第一委員会室

次 第

1 開 会

2 会長挨拶

3 役員の指名

4 協議事項

[議案第1号] 生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）（案）

5 報告事項

（1）令和3年度の酒田市地域公共交通運行状況について

（2）酒田市地域公共交通計画における数値指標の状況について

6 その他

7 閉 会

令和4年度 第1回 酒田市地域公共交通会議 出席者名簿

[出席者]

(敬称略)

役職	所属・職名	氏名	備考
会長	酒田市副市長	やぐち あきこ 矢口 明子	
	庄内交通株式会社 代表取締役社長	むら のりあき 村 紀明	
	一般社団法人山形県バス協会 専務理事	こせき かずお 小関 和夫	(代理)
	一般社団法人山形県ハイヤー協会 酒田支部 副支部長	おかべ みつこ 岡部 光子	(代理)
	酒田市自治会連合会 会長	あべ けんじ 阿部 建治	
	酒田市地区自治会連合会 会長	どもん ゆきひろ 土門 幸広	
	松山地域コミュニティ振興会連絡協議会 会長	ひらむき よしお 平向 與志雄	
	平田地域コミュニティ振興会連絡協議会 会長	さとう ただし 佐藤 正	
	特定非営利活動法人酒田市障がい者福祉会 監事	いけだ あえこ 池田 智恵子	
	国土交通省 東北運輸局 山形運輸支局 首席運輸企画専門官	かとう ともみ 加藤 知美	
	私鉄庄内交通労働組合 執行委員長	ごとう まさし 後藤 正志	
	酒田警察署 交通課長	すずき ともひろ 鈴木 朋宏	
	国土交通省 東北地方整備局 酒田河川国道事務所 道路管理課長	さとう ひろあき 佐藤 浩明	
	山形県 庄内総合支庁 建設部 道路計画課 課長補佐	おおかわ さとし 大川 哲	(代理)
	山形県 庄内総合支庁 総務企画部 総務課 連携支援室長	こまつ ひろゆき 小松 弘幸	
	東北公益文科大学 学長	かんだ なおや 神田 直弥	
	酒田市 建設部長	なかむら りょういち 中村 良一	
	酒田市 健康福祉部長	しらはた まゆみ 白畑 真由美	
	酒田市 地方創生部 交流観光課長	あべ りか 阿部 利香	

[欠席者]

役職	所属・役職名	氏名	備考
	八幡地域コミュニティ振興会連絡協議会 会長	ごとう しょういち 後藤 正一	(欠席)
	酒田飽海 PTA 連合会 母親委員会 委員長	ささき みどり 佐々木 みどり	(欠席)

[事務局]

酒田市	企画部長	なかむら けいすけ 中村 慶輔	
	都市デザイン課長	さとう ひろあき 佐藤 裕明	
	都市デザイン課 課長補佐	たなか ひろし 田中 洋志	
	都市デザイン課 地域公共交通係長	さいとう たけあり 齋藤 武有	
	都市デザイン課 地域公共交通係 主事	しょうじ なみこ 庄司 菜美子	

生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）案

令和4年8月22日

(名称) 酒田市地域公共交通会議

(代表者名) 会長 矢口 明子

1. 生活交通改善事業計画の名称

タクシー事業者福祉車両導入促進計画

2. バリアフリー化設備等整備事業の目的・必要性

身体障害者や高齢者、妊産婦などの一般タクシーでは移動が難しい方が、安心して公共交通を利用できる環境を整備することは、地域生活を営む上で欠かせないことである。そうした中、ドア・ツー・ドアの公共交通機関であるタクシーのバリアを解消していくことは、移動困難者の外出を支える取組として重要である。地域における福祉タクシーへの需要も増えており、それらに対応するためにもタクシー事業者が積極的に福祉タクシー車両を導入する必要がある。

3. バリアフリー化設備等整備事業の定量的な目標及び効果

(1) 事業の目標

酒田市内のタクシー車両数は131台であるが、そのうち、福祉タクシー車両は40台であるため、福祉タクシー車両の比率は約30.5%である。
令和6年度までに、市内福祉タクシー車両運行台数を41台以上とすることを目標とする。

(2) 事業の効果

リフト、スロープ又は回転シート付き福祉タクシー車両（UDタクシーを含む）を導入することにより、車いすやストレッチャー利用者の移動の円滑化が図られるとともに、公共交通利用者の増加に寄与する。

4. バリアフリー化設備等整備事業の内容と当該事業を実施する事業者

(1) 事業の内容：実施事業者（補助対象事業者）

UDタクシー車両の導入 1台：観光タクシー株式会社

(実施事業者（補助対象事業者）の身体・知的・精神の3区分における運賃割引率について)

身体：普通旅客運賃1割、知的：普通旅客運賃1割、精神：普通旅客運賃1割

(2) 関連事項（以下、〈 〉内の事業に該当する場合に記載）

5. バリアフリー化設備等整備事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額					
令和4年度（当該年度）					
事業の名称	総事業費 割合	国費 割合	都道府県負担 割合	市町村負担 割合	事業者負担 割合
UDタクシー 導入事業	2,211 千円	600 千円	千円	千円	1,611 千円
	100 %	27.1 %	%	%	72.9 %

※総事業費については見込み額を記載
 ※列記の者以外に費用負担者がいる場合は、適宜修正の上、全体構成が分かるように記載。

6. 計画期間												
以下項目別に概ねの着手・実施期間を矢印（←→）、または横棒線（——）で記載。 ●で年度ごとの事業着手日、事業完了日を記載												
事業の名称	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	4月	9月	12月	3月	4月	9月	12月	3月	4月	9月	12月	3月
UDタクシー 導入事業												

7. 協議会の開催状況と主な議論
令和4年8月開催予定。本市地域公共交通会議において、計画の概要について説明し、協議のうえ合意を図ることとしている。

8. 利用者等の意見の反映
特になし

9. 協議会メンバーの構成員	
関係都道府県	※別紙「酒田市地域公共交通会議委員名簿」のとおり
関係市町村	
交通事業者・交通施設管理者	
地方運輸局	
その他協議会が必要と認める者	

【本計画に関する担当者・連絡先】

（住所） 酒田市本町二丁目2番45号
 （所属） 酒田市企画部都市デザイン課
 （氏名） 後藤 大輔
 （電話） 0234-26-5756
 （e-mail） kotu@city.sakata.lg.jp

報告事項（１）

令和３年度の酒田市地域公共交通運行状況について

① 乗合バス事業

		H30	R1	R2	R3	増減（R3-R2）
る ん る ん バ ス	市内循環A線	43,612人	43,551人	30,582人	28,756人	-1,826人
	市内循環B線	47,165人	45,526人	31,182人	28,842人	-2,340人
	市内循環CD線	－	3,216人	4,725人	4,899人	174人
	酒田駅大学線	60,651人	59,555人	33,908人	38,881人	4,973人
	古湊アイアイひらた線	12,314人	11,832人	9,166人	8,138人	-1,028人
	酒田駅飯森山線	12,169人	10,909人	6,521人	6,452人	-69人
	輸送人数計①	175,911人	174,589人	116,084人	115,968人	-116人
	運賃収入②	17,275千円	17,545千円	19,237千円	18,434千円	-803千円
	県市町村総合交付金	6,669千円	6,150千円	6,233千円	4,249千円	-1,984千円
	広告等③	292千円	587千円	1,030千円	1,030千円	0千円
	収入計④	24,236千円	24,282千円	26,500千円	23,713千円	-2,787千円
	運行経費⑤	65,461千円	64,886千円	77,507千円	72,467千円	-5,040千円
	収益率(②+③)÷⑤	26.8%	27.9%	26.1%	26.9%	0.8%
	乗車一人当たり経費(⑤÷①)	372円	372円	668円	625円	-43円
乗車一人当たり市負担額(⑤-④)÷①	234円	233円	439円	420円	-19円	
ぐ る つ と バ ス	升田やまゆり荘線	4,624人	3,982人	2,617人	2,150人	-467人
	青沢やまゆり荘線	3,121人	3,038人	2,133人	1,995人	-138人
	一條循環線	2,023人	1,455人	616人	497人	-119人
	観音寺循環線	1,064人	1,010人	589人	790人	201人
	輸送人数計①	10,832人	9,485人	5,955人	5,432人	-523人
	運賃収入②	917千円	778千円	862千円	702千円	-160千円
	県市町村総合交付金	411千円	369千円	305千円	196千円	-109千円
	広告等③	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	収入計④	1,328千円	1,147千円	1,167千円	898千円	-269千円
	運行経費⑤	21,604千円	22,851千円	23,617千円	24,254千円	637千円
	収益率(②+③)÷⑤	4.2%	3.4%	3.6%	2.9%	-0.7%
	乗車一人当たり経費(⑤÷①)	1,994円	2,409円	3,966円	4,465円	499円
乗車一人当たり市負担額(⑤-④)÷①	1,872円	2,288円	3,770円	4,300円	530円	
平 田 る ん る ん バ ス	砂越海ヶ沢線	3,288人	2,850人	1,979人	1,295人	-684人
	砂越小林線	3,616人	3,824人	3,187人	2,607人	-580人
	輸送人数計①	6,904人	6,674人	5,166人	3,902人	-1,264人
	運賃収入②	688千円	652千円	849千円	662千円	-187千円
	県市町村総合交付金	261千円	261千円	238千円	189千円	-49千円
	広告等③	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	収入計④	949千円	913千円	1,087千円	851千円	-236千円
	運行経費⑤	23,829千円	24,383千円	27,259千円	27,172千円	-87千円
	収益率(②+③)÷⑤	2.8%	2.7%	3.1%	2.4%	-0.7%
	乗車一人当たり経費(⑤÷①)	3,451円	3,653円	5,277円	6,964円	1,687円
乗車一人当たり市負担額(⑤-④)÷①	3,314円	3,517円	5,066円	6,746円	1,680円	

乗合バス事業		H30	R1	R2	R3	増減 (R3-R2)
合計	輸送人数計①	193,647人	190,748人	127,205人	125,302人	-1,903人
	運賃収入②	18,880千円	18,975千円	20,948千円	19,798千円	-1,150千円
	県市町村総合交付金	7,341千円	6,780千円	6,776千円	4,634千円	-2,142千円
	広告等③	292千円	587千円	1,030千円	1,030千円	0千円
	収入計④	26,513千円	26,342千円	28,754千円	25,462千円	-3,292千円
	運行経費⑤	110,894千円	112,120千円	128,383千円	123,893千円	-4,490千円
	収益率(②+③)÷⑤	17.2%	17.4%	17.1%	16.8%	-0.3%
	乗車一人当たり経費(⑤÷①)	573円	588円	1,009円	989円	-20円
	乗車一人当たり市負担額(⑤-④)÷①	436円	450円	783円	786円	3円

② デマンドタクシー事業

地区等		H30	R1	R2	R3	増減 (R3-R2)
輸送人数	新堀	90人	71人	113人	177人	64人
	広野	531人	442人	334人	360人	26人
	中平田	451人	408人	346人	367人	21人
	東平田	623人	621人	510人	343人	-167人
	北平田	499人	415人	331人	241人	-90人
	西荒瀬	1,226人	1,084人	854人	1,027人	173人
	南遊佐	1,132人	935人	786人	755人	-31人
	本楯	538人	568人	553人	527人	-26人
	上田	165人	109人	131人	144人	13人
	松山[酒田駅線]	1,458人	1,337人	1,062人	1,031人	-31人
	松山[管内]	178人	140人	132人	222人	90人
	松山[庄内町線]	-	-	89人	107人	18人
	計①	6,891人	6,130人	5,241人	5,301人	60人
	収入	運賃収入②	3,429千円	3,052千円	2,567千円	2,575千円
県市町村総合交付金		1,500千円	1,361千円	1,280千円	675千円	-605千円
計③		4,929千円	4,413千円	3,847千円	3,250千円	-597千円
運行経費④		21,596千円	21,490千円	19,917千円	20,486千円	569千円
収益率 ②÷④		15.8%	14.2%	12.9%	12.6%	-0.3%
乗車一人当たり経費(④÷①)		3,134円	3,506円	3,800円	3,865円	65円
乗車一人当たり市負担額(④-③)÷①		2,419円	2,786円	3,066円	3,251円	185円

●月・水・金曜日運行 → 新堀、東平田、北平田、南遊佐地区、松山庄内町線

火・木・金曜日運行 → 広野、中平田、西荒瀬、本楯、上田地区および松山地域

月曜日～金曜日運行 → 松山管内線（自宅⇄松山診療所・庄内みどり農協松山支店）

●料金 片道500円、松山総合支所管内線は片道300円（保護者同伴の3歳未満の幼児は無料）

③ 酒田市生活交通バス路線維持費補助事業

路線名等		H30	R1	R2	R3	増減 (R3-R2)
輸 送 人 数	十里塚-古湊線	29,730人	29,598人	28,077人	22,895人	-5,182人
	酒田市内循環線	25,007人	24,682人	—	—	—
	酒田-山寺線	26,235人	19,809人	21,032人	19,499人	-1,533人
	酒田-観音寺線	24,267人	23,766人	22,551人	22,394人	-157人
	酒田-余目線	23,076人	25,836人	25,390人	19,745人	-5,645人
	酒田-湯野浜線	28,486人	30,703人	28,580人	31,754人	3,174人
	計	156,801人	154,394人	125,630人	116,287人	-9,343人
	海ヶ沢線	1,179人	—	—	—	—
	円能寺線	1,563人	—	—	—	—
	小林線	1,989人	—	—	—	—
	計	4,731人	—	—	—	—
	合計	161,532人	154,394人	125,630人	116,287人	-9,343人
補 助 金	十里塚-古湊線	17,446千円	17,954千円	18,992千円	20,903千円	1,911千円
	酒田市内循環線	15,219千円	15,715千円	—	—	—
	酒田-山寺線	11,134千円	14,733千円	14,438千円	14,827千円	389千円
	酒田-観音寺線	12,985千円	13,399千円	14,212千円	14,005千円	-207千円
	酒田-余目線	9,523千円	8,792千円	9,229千円	12,144千円	2,915千円
	酒田-湯野浜線	16,343千円	15,813千円	16,973千円	15,399千円	-1,574千円
	計	82,650千円	86,406千円	73,844千円	77,278千円	3,434千円
	海ヶ沢線	1,615千円	—	—	—	—
	円能寺線	1,413千円	—	—	—	—
	小林線	2,709千円	—	—	—	—
	計	5,737千円	—	—	—	—
	合計	88,387千円	86,406千円	73,844千円	77,278千円	3,434千円

●バス年度（前年10月1日から当該年9月30日）で補助金を交付

酒田市地域公共交通計画における数値指標の状況

1 計画の方針・目標・指標

【基本方針1】 将来のまちの姿を見据えた持続可能な公共交通

- 基本目標1：効率的で持続可能な交通網を整備します
- 長期目標①：都市機能を生かすコンパクトなまちづくりを支援します

- 数値指標 1-A：バス路線の1キロあたり利用者数
- 数値指標 1-B：公共交通の収支率
- 数値指標 1-C：利用者1人あたり公費負担額
- アンケート指標①：公共交通の利用率

【基本方針2】 地域の交流と発展を促す公共交通

- 基本目標2：市民生活を支える交通サービス向上を目指します
- 長期目標②：それぞれの交通が連携した交通体系を構築します

- 数値指標 2：デマンドタクシー利用者数
- アンケート指標②：接続性に関する不満度

【基本方針3】 市民協働で取り組み、利用者目線で考える公共交通

- 基本目標3：産学官民が連携し、公共交通の利用を促進します
- 長期目標③：わかりやすく、使いやすい交通環境を目指します

- 数値指標 3：利用促進のための取り組み事例数
- アンケート指標③：情報提供に関する不満度

2 目標値と現況値

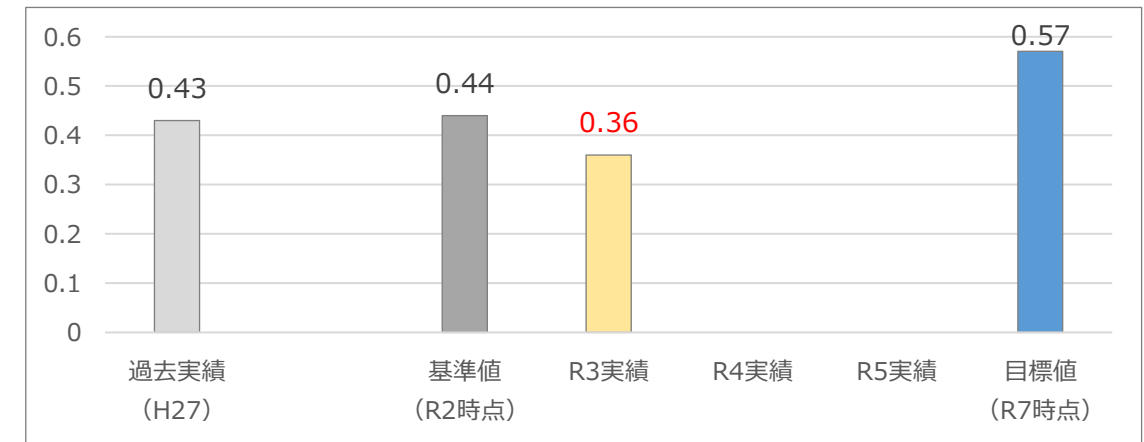
※ 市民アンケート結果や改編後のシミュレートにより設定

指標	調査頻度	基準値	R3 年度実績	目標値
数値指標 1-A：バス路線の1キロあたり利用者数	毎年	0.44 人/km	0.36 人/km	0.57 人/km
数値指標 1-B：公共交通の収支率	毎年	22.4%	22.2%	32.0%
数値指標 1-C：利用者1人あたり公費負担額	毎年	454 円	634 円	350 円
アンケート指標①：公共交通の利用率	最終年度	13.8%	—	18.0%
数値指標 2：デマンドタクシー利用者数	毎年	6,130 人	5,301 人	17,000 人
アンケート指標②：接続性に関する不満度	最終年度	34.2%	—	30.0%
数値指標 3：利用促進のための取り組み事例数	毎年	2	1	12 (累計)
アンケート指標③：情報提供に関する不満度	最終年度	19.7%	—	15.0%

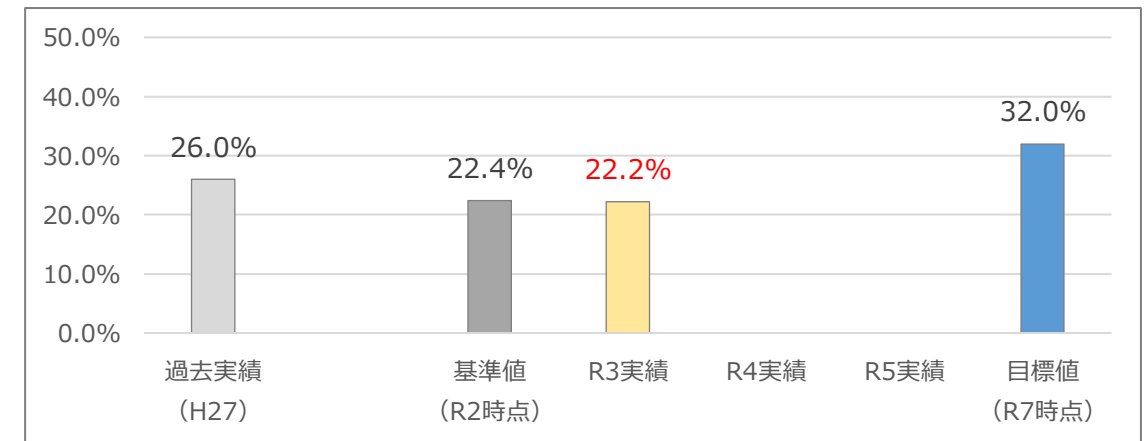
■ 利用促進のための取り組み事例数

- R3 年度：①JRとの TOHOKUMaaS 実施
- R4 年度：①琢成小学校の総合学習（6年生）の取り組み、②アイアイひらたによるバス時刻のチラシ掲載、③錦町4丁目、錦町5丁目への改編お知らせの回覧、④地域包括支援センターとの連携（地域版バスブック）

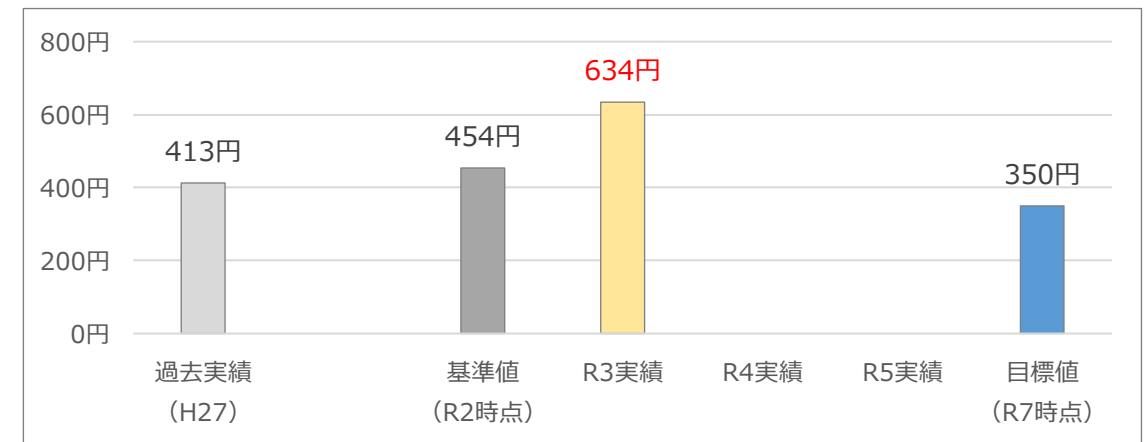
バス路線の1キロあたり利用者数



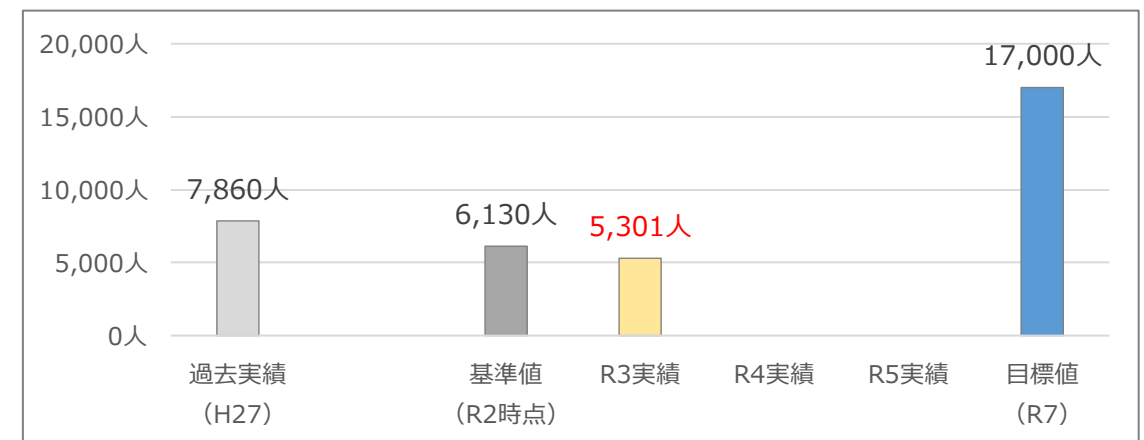
公共交通の収支率



利用者1人あたりの公費負担額



デマンドタクシー利用者数



バス路線の1キロあたり利用者数

バス路線	実走距離 (基準値)	実走距離 (R3実績)	利用者数 (基準値)	利用者数 (R3実績)	1キロあたり利用者数 (基準値)	1キロあたり利用者数 (R3実績)
るるんバス	258,403.6 km	255,270.1 km	174,589 人	115,968 人	0.68 人/km	0.45 人/km
八幡ぐるっとバス	136,500.0 km	136,125.0 km	9,485 人	5,432 人	0.07 人/km	0.04 人/km
平田るるんバス	71,586.0 km	71,295.0 km	6,674 人	3,902 人	0.09 人/km	0.05 人/km
庄内交通バス	506,673.0 km	505,909.5 km	238,934 人	227,725 人	0.47 人/km	0.45 人/km
全体	973,162.6 km	968,599.6 km	429,682 人	353,027 人	0.44 人/km	0.36 人/km

※ 基準値：市営バスはR1年度実績、庄内交通バスはR2バス年度実績（国庫補助路線分を含む）
 ※ R3実績：市営バスはR3年度実績、庄内交通バスはR3バス年度実績（国庫補助路線分を含む）
 ※ 実走距離：各路線の路程km、便数、運行日に基づくバス運行としての実走距離であり、回送距離などは含まない。

公共交通の収支率

バス路線	費用 (基準値)	費用 (R3実績)	収益 (基準値)	収益 (R3実績)	収支率 (基準値)	収支率 (R3実績)
るるんバス	64,886 千円	72,467 千円	18,132 千円	19,464 千円	27.9%	26.9%
八幡ぐるっとバス	22,851 千円	24,254 千円	778 千円	702 千円	3.4%	2.9%
平田るるんバス	24,383 千円	27,172 千円	652 千円	662 千円	2.7%	2.4%
庄内交通バス	168,841 千円	172,656 千円	45,169 千円	47,051 千円	26.8%	27.3%
デマンドタクシー	21,490 千円	20,486 千円	3,052 千円	2,575 千円	14.2%	12.6%
全体	302,451 千円	317,036 千円	67,783 千円	70,455 千円	22.4%	22.2%

※ 基準値：市営バスはR1年度実績、庄内交通バスはR2バス年度実績（国庫補助路線分を含む）
 ※ R3実績：市営バスはR3年度実績、庄内交通バスはR3バス年度実績（国庫補助路線分を含む）
 ※ 収益：収益には補助金や交付金を含めずに算出する。表は千円単位での表記。

利用者1人あたりの公費負担額

バス路線	利用者数 (基準値)	利用者数 (R3実績)	公費負担額 (基準値)	公費負担額 (R3実績)	1人あたり公費負担額 (基準値)	1人あたり公費負担額 (R3実績)
るるんバス	174,589 人	115,968 人	46,754 千円	53,004 千円	267.8 円	457.1 円
八幡ぐるっとバス	9,485 人	5,432 人	22,073 千円	23,552 千円	2,327.1 円	4,335.7 円
平田るるんバス	6,674 人	3,902 人	23,731 千円	26,510 千円	3,555.7 円	6,793.9 円
庄内交通バス	238,934 人	227,725 人	86,782 千円	106,354 千円	363.2 円	467.0 円
デマンドタクシー	6,130 人	5,301 人	18,438 千円	17,911 千円	3,007.8 円	3,378.8 円
全体	435,812 人	358,328 人	197,778 千円	227,330 千円	453.8 円	634.4 円

※ 基準値：市営バスはR1年度実績、庄内交通バスはR2バス年度実績（国庫補助路線分を含む）
 ※ R3実績：市営バスはR3年度実績、庄内交通バスはR3バス年度実績（国庫補助路線分を含む）
 ※ 公費負担額：費用から収益を差し引いて求める。収益には補助金や交付金を含めずに算出する。表は千円単位での表記。

公共交通の改編に向けた直近の取り組み経過

- 地域住民や各種団体への説明会等
 - 令和3年度：21回開催
 - 令和4年度：12回開催（4月～7月末まで）
- 案内チラシ等の配布
 - 令和4年2月：改編の案内チラシをバス車内などで配布（累計約1,000枚）
 - 令和4年6月：新しいデマンドタクシー利用ガイドや登録用紙を配布（利用ガイド：14,000枚、全運行エリア世帯及びコミセン等）（登録用紙：5,865枚、新規地区の世帯）
 - 令和4年7月：改編の案内チラシを市広報に折り込み（計41,100枚）
- デマンドタクシーの新規エリアにおける登録状況
 - 令和4年7月までの分：合計681人
 （浜中、黒森、十坂地区：117人）
 （八幡地域：348人）
 （平田地域：216人）
- 利用促進に向けた今後の取り組み（検討）
 - 自治会等と連携したるるんバス試乗ツアー、乗り方講習
 - 利用者アンケートの実施
 - オーダーメイドでのマイ時刻表の作成、提供



酒田市役所（1階）
 フリースペースでの周知ブースの様子



5-3 計画全体の概要と取り組み内容

基本理念 **人と地域の交流を支える公共交通** ～ 市民とともに持続可能な交通網を形成し、コンパクト+ネットワークを実現 ～



【基本方針1】 将来のまちの姿を見据えた持続可能な公共交通

市街地の都市構造と交通網が機能的にリンクし、市民が安心して暮らせる生活環境を支える持続可能な公共交通

【基本目標1】

効率的で持続可能な交通網を整備します

【長期目標①】

都市機能を生かすコンパクトなまちづくりを支援します

【数値指標1】

バス路線の1キロあたり利用者数
公共交通の収支率
利用者1人あたり公費負担額

【アンケート指標①】

公共交通の利用率

【基本方針2】 地域の交流と発展を促す公共交通

郊外エリアや総合支所エリアの住民でも交通拠点や主要な目的地にアクセスしやすく、それぞれの交通機関が効果的に接続する公共交通

【基本目標2】

市民生活を支える交通サービス向上を目指します

【長期目標②】

それぞれの交通が連携した交通体系を構築します

【数値指標2】

デマンドタクシーの利用者数

【アンケート指標②】

接続性に関する不満度

【基本方針3】 市民協働で取り組み、利用者目線で考える公共交通

行政だけでなく市民や企業などと共に考え、利用者目線での利便性向上を目指し、新たな需要を取り込む公共交通

【基本目標3】

産学官民が連携し、公共交通の利用を促進します

【長期目標③】

わかりやすく、使いやすい交通環境を目指します

【数値指標3】

利用促進の取り組み事例数

【アンケート指標③】

情報提供に関する不満度

○ 施策体系1：公共交通再編施策

- 1-1 市街地バス路線の再編
- 1-2 地域間幹線バス路線の再編
- 1-3 地域内バス路線の再編
- 1-4 予約型乗合交通の再編
- 1-5 新たな交通サービスの導入

○ 施策体系3：市民協働施策

- 3-1 市民と共に考える場の創出
- 3-2 公共交通を経験・体験する場の創出
- 3-3 企業や大学と連携したサービス展開
- 3-4 モビリティマネジメントの推進

○ 施策体系2：拠点強化施策

- 2-1 市街地における拠点性の向上
- 2-2 総合支所エリアにおける拠点性の向上
- 2-3 待ち合い環境・乗り継ぎ拠点の改善
- 2-4 交通拠点における接続性の向上

○ 施策体系4：利用環境改善施策

- 4-1 親切で充実した案内表示
- 4-2 運賃体系の検討
- 4-3 利用しやすい車両への改善

【重点的な取り組み】

① 公共交通体系の改編

◆本市の全体を見渡した改編の実施 ◆酒田駅前再開発事業と連動したバス停の集約

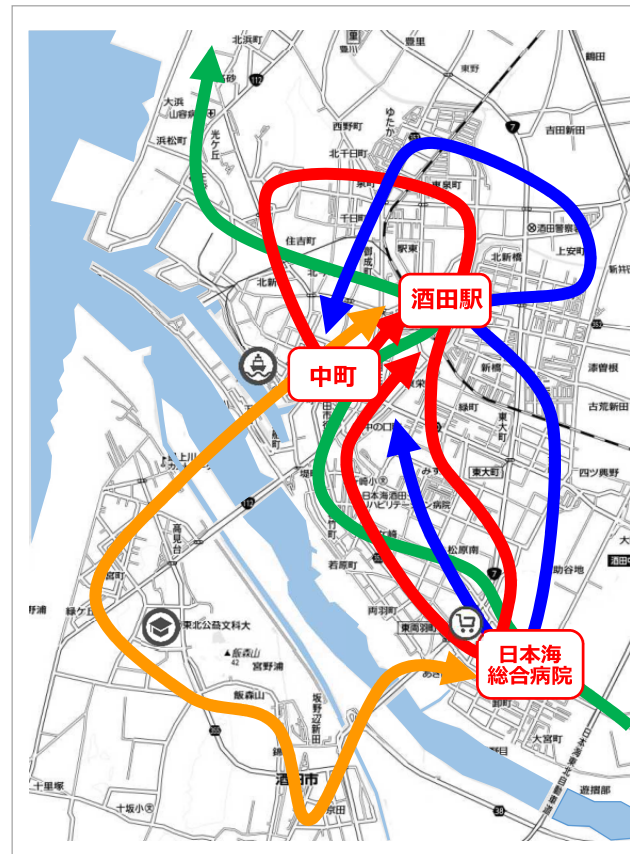
② 潜在的需要者の取り込み

◆啓発・周知と体験会の実施 ◆改編内容の説明と情報発信

③ 利用環境の改善

◆新しい都市機能の効果的な活用 ◆地域版時刻表の取り組み ◆バスロケーションシステムの周知と講習
◆運賃のキャッシュレス化と新しい運賃体系、MaaSの取り組み

【交通体系改編後のネットワークイメージ（路線バス・デマンドタクシー）】



市街地の路線網イメージ（るるるんバス）

- 新路線1（市街地循環型）
- 新路線2（市街地循環型） ※ 新しい地域内フィーダー系統路線
- 新路線3（地域間路線）
- 新路線4（地域内路線）

広域的なネットワークイメージ

- 従来からのデマンドタクシー運行エリア
- 新規追加するデマンドタクシー運行エリア ※ 新しい地域内フィーダー系統路線
- 広域幹線（路線バス：鶴岡酒田線）
- デマンドタクシー（市街地への移動）
- デマンドタクシー（管内での移動）

